


 おぐりしげき
小栗 茂樹
 小牧営業所 運輸班長

南星キャリアックス株式会社のベテランドライバーである小栗茂樹さんは、これまで数々の製品を荷台に積み、全国各地を走り回ってきました。そんな小栗さんに、これまでの経験やそこから学んだことについて伺います。

——**これまでに経験した仕事について教えてください。**

南星キャリアックスに入社した当初は、株式会社東芝の家電製品の配送を担当していました。その後は日清食品株式会社や敷島製パン株式会社の食品から、自動車部品に至るまで、実に様々な物を運ぶ機会に恵まれました。短期間だけの仕事もありましたが、どれも思い出深い仕事です。

現在は株式会社トーモクのダンボールの配送を担当し、主に東海3県を回っています。その日に

よって走行距離は変わりますが、小牧営業所を拠点に、最も遠いところでは三重県松阪市まで片道約120キロを走ることもあります。

——**ドライバーの仕事をしていて良かったと思うことはありますか。**

ドライバーという仕事は拘束時間も長く、体力勝負の部分もあります。仕事は厳しいのですが、私はもともと運転が好きなので、20〜30代の頃は特に運転自体を楽しんでいました。仕事で様々な土地に行けるのも、この仕事の楽しみの一つです。高速だけでなく下道ルートも覚えれば、同僚や先輩にそのエリアの情報を教えてあげられますし、トラックを走らせている途中で見つけた美味しそうなラーメン店や喫茶店を、プ

ライブートでも訪れてみるといい、ささやかな楽しみもあります。

——**これまでに何か大きな失敗を経験されたことはありますか。**

随分と前になりますが、クビになるのではないかと思うくらいの大損失を出してしまったことがあります。それは、東芝の洗濯機を運んでいたときでした。「降ろした荷物がトラックの後方にある場合は、バックしてはいけない」というのは、運転手でなくても分かりそうなものですが、何を思ったのか、トラックをバックさせてしまったのです。洗濯機の値段は1台8万円。パレット積みめのフォークリフトに8台積みでありましたから、単純に計算しても64万円になります。それらをすべて自分のトラックで潰してし

まったのです。「弁償に何か月分の給料がかかるのだろうか……」と真っ青になりました。

当然、お客様には怒られました。が、謝罪に上司も同行してくれたことや、会社の迅速な対応のおかげで、客先との関係も悪化せず済みました。私にくだされた処分は、無事故手当のカットのみ。このとき何よりも救いとなったのは、落ちこむ私に当時の営業所の所長がかけてくれた言葉です。「失敗は誰もが経験する。同じ失敗を繰り返さなければよいだけだから、明日からも頑張れよ」という励ましの一言でした。

この失敗を経験してから、荷降ろしが終わった後は必ずトラックの後方を確認するようにしています。払った代償は大きかったとはいえ、その後は事故を起こさないよう常に注意するように

なったので、よい教訓になりました。

——**仕事をする上で、どのようなことを心がけていますか。**

普段は他のドライバーたちと顔を合わせる機会がほとんどありませんが、小牧営業所では2か月に1度、全員が集まって意見交換をします。客先の情報交換などもドライバー同士で気軽にできる、こうした環境が用意されていることは、みんなの働きやすさにも繋がっていることでしょう。

新しいドライバーが入ったときも、先輩ドライバーの情報網を有効に活用できますし、古株である私としては、客先と良好な関係を築いておき、スムーズに後輩に引き継ぐといった流れをつくってあげたいなとも思います。今後まだチャンスがあるなら、

これまで運んだ経験のない物も運んでみたいです。そのためにも、定年までこの会社でドライバーを続けていくことを目指します。

ベテランドライバーとして後継に続く若手をリードする小栗さん。これからも自身の仕事に情熱を注ぎながら、南星キャリアックスの発展に貢献していくことでしょう。

